

令和8年
1月25日執行

福井県議会議員補欠選挙(福井市選挙区)選挙公報

福井県選挙管理委員会



声を聞き、かたちにする。
「まじめ」な政治で
地域を豊かに。

〈プロフィール〉福井市(高木北)在住。灯明寺中学校、高志高校、福井大学工学部卒業、同大学院修了。システムエンジニアとして勤務後、家業の食品販売業に従事。福井商工会議所青年部(YEG)に所属し、地域活動に取り組む。



小嶋
おじま
ひろき
2児の父
40歳

あなたとの「対話」で政策を進めます



約束01

立場などによらず、どなたでも参加可能な「語る会(対話集会)」を継続開催いたします。

約束02

どのような状況の人でも声を届けられるよう、私のホームページやSNSなどを常にオープンに相談窓口として機能させます。



【政策方針】県民のくらしを守り、まなびと挑戦を支える

挑戦

重点政策 01 ▶ 県都まちづくりのチャレンジ支援

大切なのはまちの担い手が起業やまちづくり事業などにチャレンジしやすくなる、都会の真似ではない福井らしい環境づくり。それらの支援強化を図り、県都のにぎわいや経済の好循環を育みます。

まなびの機会

重点政策 02 ▶ 進路・仕事の選択肢の充実

学生：各学校の特色強化と地域や企業と連携した探究学習の促進により、地元企業の就職選択肢を増やすことなどを進めます。
社会人：スキル習得など学び直しの支援を強化、就職・雇用の可能性を広げます。

くらしの安心

重点政策 03 ▶ 地域交通インフラの強化

高齢者・学生・障がい者など、車を持たない人が困らない福井へ。交通手段の維持への積極支援に加え、新たな技術を活かした、他県ではすでに定期運行まで進む自動運転バスやデマンド交通などを推進します。

※書ききれない他のたくさんの政策はホームページをご覧ください

地域政党「ふくい」の党とは

県内各地の議員・首長たちが集う福井県の新しい地域政党です。2024年には小浜市長を輩出し、県議会では第3会派となり、新しい政治の担い手へと成長してきました。国の政党とは違いに国政に左右されず、地域のための政策を県民との「対話」から実現しています。



県議会議員 山岸 みつる



県議会議員 三宅 わたる



県議会議員 堀居 哲郎



小浜市長 杉本 和範



県内各地の所属政治家メンバー



県内各地の所属政治家メンバー



地域政党 ふくいの党

「対話集会」開催情報

1/21(水)

19:00~20:00

福井市立図書館(多目的ホール)

1/24(土)

19:00~20:00

フェニックスプラザ(地下会議室)

対話大集会

1月25日(日)は

福井県議会議員補欠選挙の投票日

投票は午前7時から
午後8時まで



選挙権年齢は
18歳以上です

家族みんなで
投票に行こう!

投票所によっては、投票終了時刻が早くなっている場合がありますので、入場券等でご確認ください。

～投票権 だれかにたくさず 自分から～

福井県選挙管理委員会



物価…
たかつ



セクハラに
退職金で!

そんな あなたの
思いや疑問、
県政へまっすぐ
届けます。



日本共産党

さとう 正雄

プロフィール
1959年、坂井市(旧坂井町)生まれ。三国高校、中京大学卒業。坂井町役場勤務を経て日本共産党専従。'99年に県議に初当選し、これまでに5期。

県政をチェック 暮らしの実感を提案

さとう 正雄

前知事のセクハラを追及せず、6000万円もの退職金まで容認…。物価高騰で苦しむ県民を横に、多額の税金を投入しての『アリーナ』建設…。県民の心を離れ、県政が迷走しています。そんな今こそ、県政をチェック、暮らしの実感を届ける議員が必要です。

チェック・提案/確かなチカラ

議会ですらひとり、バブル期の福井空港拡張計画に反対し、論戦で白紙撤回に追い込みました。その後、空港事業は全国で破綻しています。

県内党地方議員団とともに県・市・町へ働きかけ、高校卒業までの医療費窓口無料化を実現!

行政に人権意識を! 『アリーナ』より暮らし!

✓給料アップ

賃上げする企業へ県が本気で支援を。

✓学校給食無償化

全国的に小学校は無償の動き。県の努力で中学校給食も!

✓補聴器の購入支援

認知症予防、健康長寿のためにも!

✓原発ゼロ、再エネへ転換

再エネ、省エネ型社会への転換を進め、地域に新しい産業・雇用を生み出します。

✓個性と人権の尊重

行政の基本は、人権を尊重すること。ハラスメント、あらゆる差別をなくしていきます。



YouTube

Facebook

X

さとう正雄への支持を、あと2票、3票、ひろげてください。

県民ファースト!

1 福井アリーナ計画の見直し

箱物行政ではなく、次世代のためのインフラを

30年間で54億円の県費を固定的に支出する計画は認めず、老朽化した道路や上下水道、バス路線の維持などに投資します。駐車場、渋滞、近隣住民への影響などへの解決策が定まるまで、計画を保留します。

2 サンダーバードの臨時復活を

関西経済圏を取り戻し、能登の復興を支えます

大阪一和倉温泉間のサンダーバードを臨時復活させ、関西圏への移動の不便さを解消し経済を取り戻します。あわら小浜間を直通する快速鉄道便を創設し、県内を乗り換えなく行き来できる環境を整えます。

3 出産・子育ての無償化を

「産みたい」「育てたい」と誰もが思う福井県に

出産時の自己負担分や保育料などを無償化し、1人目から出産・子育ての完全無償化を目指します。子供1人につき、毎年10万円を支給します。若い世代が、「子供を産み育てたい」と考える福井県にします。

4 敦賀～琵琶湖～伊勢結ぶ「運河」を

福井を起点に、日本海と太平洋を繋ぐ

日本を横断する初めての「運河」を創設し、福井を「日本の物流の要衝」とします。水運により、物流における環境エネルギー負荷を軽減します。災害時の代替物流ルートとして国土強靱化に貢献します。

5 医療・介護・福祉への支援と処遇改善

従事者を守り持続可能な医療・介護・福祉を

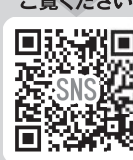
医療・介護・福祉の現場で働く人の処遇を改善します。県独自の上乘せ補助で、現場と事業者を支えます。持続可能な体制を整え、次の世代が安心して目指せる業界にします。



参政党
sanseito

1995年12月生まれ30歳
福井県立羽水高校卒業
福井大学 医学部 看護学科卒業
参政党 福井県第1支部 支部長
現在、看護師として在宅医療に従事

小林的活動をご覧ください!



参政党
公認

小林 こういちろう

看護師

30歳

令和8年 1月25日執行 福井県議会議員補欠選挙(福井市選挙区)選挙公報

福井県選挙管理委員会

誇れる日本を、福井から。自由とともに。

日本自由党公認候補として、私は「減税」「行政改革」「情報公開」を求めます。今の行政の大きな課題は、増え続ける税・社会保障負担と、無数にある使途の不透明な行政支出です。行政事業のスリム化により歳出を減らすことが、減税につながります。

補助金を見直す

効果が見えにくい補助金・助成金は、目的と成果を検証し、廃止・縮小・統合を提案します。申請や審査のコストも減らし、県民の負担軽減につなげます。

県の仕事を減らす

増え続ける事務事業を点検して効果の薄い事業や民間でできる事業を洗い出し、廃止・統合・民間化を提案します。

税金の使い道を「見える化」

予算・事務事業評価・審議内容などの県政情報を整理し、県民が確認しやすい形で公開します。

日本自由党は全ての増税に反対！



日本自由党総裁・前参議院議員
浜田 聡 はまださとし

このほかのマニフェストとして、
②日本を守る意思を持った強い防衛・外交！
③「税金を食い物にする既得権者」を一掃！
④お役所仕事の「ムダ」を一掃！
⑤「SNS 規制」、「偏向報道」、「放送利権」に反対！
⑥「世襲政治の打破」、「議会改革」を実現！
の6つを掲げています。

詳細は右記QRコードを読み込んでください。



林あきこプロフィール

1998年 国際基督教大学(ICU)卒業
(株)NTT データ等の会社勤務を経て
現在自営業(個人事業主)
岐阜県出身、2014年より福井市在住



皆様の応援が活動の原動力となります。
県議補選の投票用紙には、ぜひ「林あきこ」と書きください！

私たちのまちは変えられます。政治を特定の人のためでなく、市民全員のために。
誇れる日本を、福井から取り戻そう。



日本自由党公認

林あきこ

人が育つまちを、次代へつなぐ。

目指すは、「育都ふくい」の実現！

弁護士

元PTA
連合会
会 長



後藤まさくに

後藤まさくに 3つの政策



人を育て、学びを支える

教育と文化・スポーツを重視し、人が学び育つ福井の強みを、さらに強くしていきます。教育と児童福祉を切れ目なくつなぎ、子育て世代を全力で後押しします。人が伸びゆくまちこそが、未来へつながっていきます。



産業と事業を、次の世代へ

事業承継・経営革新や人材確保・DXを支援し、企業が挑戦し続けることができる環境づくりを全力で進めます。地元企業の元気が、福井の元氣、県民の皆さんの元氣です。



農林水産を、未来につなぐ

作る人・獲る人・山を守る人が報われ、担い手が育つ環境づくりを全力で支えます。福井の恵みを守り、活かすことで、素晴らしい「福井らしさ」を次の世代へ引き継ぎます。

プロフィール

●足羽第一中・高志高校で野球部 ●慶應義塾大学 法学部政治学科／落語研究会 ●弁護士として福井に根ざす ●10年以上のPTA活動を通し、教育環境の改善に携わる(元 市PTA連合会会長・元 県高等学校PTA連合会会長) ●自らも教育活動実践の先頭に立ち続ける ●経済団体などにおいて新時代の地域づくりに取り組む ●子ども3人の父、3世代同居家族

後藤まさくにの活動を発信しています！



Instagram

応援いただける方、こちらから登録をお願いします！



Google Forms

無所属
新人

51歳

仕事、旅行…用事があるあなたに 期日前投票のお知らせ！

旅行の前に、
期日前投票を忘れずに！



投票日に投票所に行って投票できない方は、期日前投票制度を利用してください。

福井県議会議員補欠選挙 1月17日～1月24日
午前8時30分～午後8時

詳しくはお住まいの市町または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

～投票権 だれかにたくさず 自分から～

福井県選挙管理委員会

たつの 立野しずか Profile

1983年、福井市生まれ。
現在、福井市福2丁目在住。夫と大学受験を控える長男、中学生の長女と生活。歯科衛生士の資格を取り働いていたが、子育てを機にパートや契約社員として働く。

福井の暮らしの中で、
私は、“立つの”です。

立憲民主党

立野しずかの目指すこと



プライベートを「仕事」に奪わせない。

- 時短でも正社員になれる環境づくり
- 働きやすい職場を支援する制度づくり
- 多様な働き方を推進する仕組みづくり

子育てを「家庭だけ」に背負わせない。

- 進級・進学不安を解消する仕組みづくり
- 産後も継続的にサポートが受けられる体制づくり
- 生まれ育った環境によって、すべての子どもの選択肢が狭まらない社会づくり



介護を「家族の頑張り」に押し付けない。

- 高齢者が活躍できる地域づくり
- 介護が始まって生活が変わらない体制づくり
- 介護の仕事に魅力を感じる人材が集まる町づくり

女性県議が今、求められています！

県庁のトップである知事による、深刻なハラスメントの実態が明らかになりました。そこには、読むだけで身の毛もよだつような生々しい言葉が並んでいました。声を上げた人が、無視されない。立場の弱い人が、耐えなくてもいい。知事であっても、おかしいことは「おかしい」と言える。そんな当たり前を、福井の県政に取り戻したい。福井を、我慢しなくてもいい場所に。



37人中女性が2人しかいない県議会。

女性の議員を立憲民主党から

誕生させます！

都道府県版
ジェンダー
ギャップ指数
福井県議会
男女比
0.059で
全国
最下位！



左から、波多野賢 衆議院議員、立野しずか 候補者、野田哲生 福井県議会議員。

立憲民主党政談演説会開催

2026
本選日 1.22
18時30分～

会場
フェニックス・プラザ 地下
福井市田原1丁目13番6号



立野しずか

42歳

立憲民主党
公認